

『建設物価 土木工事費指数』

2025年2月分の指標データを試験公表

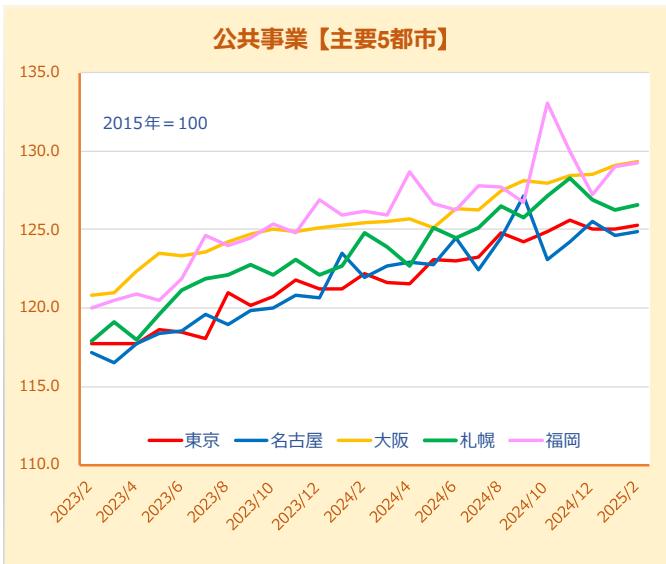
一般財団法人建設物価調査会（本部：東京都中央区、理事長：白土昌則）では、『建設物価 土木工事費指数』の2025年2月分の指標データを2025年3月7日13:00より試験公表いたします。

土木工事費指数は、工事価格の変動を時系列や地域毎に把握することを目的に作成されており、物価としての土木工事費を時点間で比較したり、時系列でその動向を観察することも可能です。

■2025年2月分の指標動向（工事原価指数 東京） ■（2015年=100.0）

- ▶公共事業の指標は、125.3(暫定値)と前月比で0.2%増、前年同月比2.5%増となった。
- ▶治水の指標は、126.1(暫定値)と前月比で0.2%増、前年同月比2.5%増となった。
- ▶道路の指標は、123.2(暫定値)と前月比で0.2%増、前年同月比2.3%増となった。
- ▶下水道の指標は、127.6(暫定値)と前月比で0.3%増、前年同月比3.3%増となった。
- ▶道路改良の指標は、122.5(暫定値)と前月比で0.2%増、前年同月比2.6%増となった。
- ▶道路舗装の指標は、116.0(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比2.2%増となった。
- ▶道路橋梁の指標は、129.8(暫定値)と前月比で0.0%増、前年同月比2.4%増となった。
- ▶道路補修の指標は、117.4(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比1.9%増となった。
- ▶災害復旧の指標は、124.9(暫定値)と前月比で0.5%増、前年同月比2.6%増となった。

■工事原価指標グラフ ■



■工事原価指標値 ■

公共事業【主要5都市】

※2015年=100

年月	東京	名古屋	大阪	札幌	福岡
2024年 2月	122.2	121.9	125.4	124.8	126.1
3月	121.6	122.7	125.5	123.9	125.9
4月	121.6	122.9	125.7	122.7	128.7
5月	123.1	122.8	125.1	125.1	126.6
6月	123.0	124.4	126.3	124.5	126.2
7月	123.2	122.4	126.3	125.1	127.8
8月	124.8	124.5	127.5	126.5	127.7
9月	124.3	127.1	128.1	125.7	126.8
10月	124.8	123.1	127.9	127.1	133.1
11月	125.6	124.2	128.5	128.3	130.0
12月	125.0	125.5	128.5	126.9	127.2
2025年 1月	125.0	124.6	129.1	126.3	129.0
2月	P 125.3	P 124.9	P 129.3	P 126.6	P 129.3

※2025年2月の指標は「暫定値(P値)」です。

■2025年2月（暫定値）の土木工事費指標

～主要5都市 前年同月比45カ月連続で上昇 - 労務費と材料費の上昇が寄与～

2025年2月の東京における公共事業の指標は125.3（暫定値）となり、前月比で0.2%増、前年同月比では2.5%と増加し、堅調な増加傾向を示した。工事種類別の指標では、災害復旧が前月比で0.5%と最大の伸びとなった。前年同月比では下水道が3.3%増と最大の伸びを示した。主要5都市における公共事業の指標は、前年同月比では、大阪で3.1%増と大幅な増加が見られた。この増加の主な要因として、材料費、労務費、機械費用の上昇があり、寄与度でみると、材料費は+1.7、労務費は+0.8、機械費用は+0.3であった。全都市では前月比・前年同月比で上昇し、前年同月比は各都市とも2021年5月から45カ月連続で上昇を続けており、公共事業の堅調さを示している。一方で、前月比の増加幅は、各都市とも小幅にとどまった。材料費の内訳については、【建設物価 建設資材物価指数®】を参照。



【本件に関するお問合せ先】

一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 担当：池原 Tel : 03-3663-7235

東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号 フジスタービル日本橋 E-mail : cecc_index@kensetu-bukka.or.jp

詳細な指標はコチラ → https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_doboku/